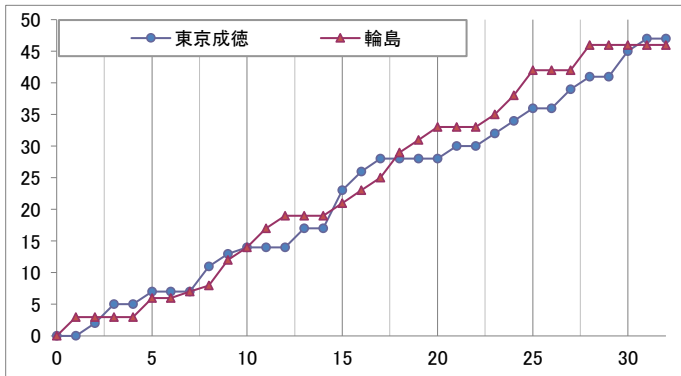




大会名	平成28年度全国中学校体育大会 第46回全国中学校バスケットボール大会									
会場	大野市エキサイト広場体育館									
日時	2016年8月24日(水) 10:00									
コート	OBコート 第1試合									
カテゴリー	女 決勝トーナメント1回戦									
主審	恩地 孝明									
副審	山口 憲照									
TEAM A	TEAM B									
東京成徳 47 (東京) ○	<table border="0"> <tr> <td>11 1st 8</td> <td rowspan="4">46</td> <td>輪島</td> </tr> <tr> <td>15 2nd 15</td> <td>(石川) ●</td> </tr> <tr> <td>8 3rd 15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13 4th 8</td> <td></td> </tr> </table>	11 1st 8	46	輪島	15 2nd 15	(石川) ●	8 3rd 15		13 4th 8	
11 1st 8	46	輪島								
15 2nd 15		(石川) ●								
8 3rd 15										
13 4th 8										

得点経過



BOXスコア

TEAM A		東京成徳						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	野本 美佳子(CAP)	×	10	2	2	0	2	
5	村井 ちかこ	DNF	0	0	0	0	0	
6	山崎 蒼依	×	4	1	0	1	0	
7	洪 潤夏	×	12	0	5	2	1	
8	福田 楓	×	4	0	1	2	0	
9	菊地 梨緒	/	0	0	0	0	1	
10	野上 舞	×	2	0	1	0	1	
11	深澤 佳那子	/	0	0	0	0	0	
12	曾我 瞳桜子	/	0	0	0	0	1	
13	増田 遥	/	10	0	5	0	0	
14	浜野 緋咲	/	5	0	2	1	2	
15	北原 理沙	DNF	0	0	0	0	0	
16	勝又 菜花	DNF	0	0	0	0	0	
17	棟居 初菜	DNF	0	0	0	0	0	
18	鬼頭 ゆめこ	DNF	0	0	0	0	0	
コーチ	塩田 敦士							
合計			47	3	16	6	8	

TEAM B		輪島						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	宮下 渚(CAP)	×	12	0	5	2	3	
5	沖崎 彩香	×	7	0	2	3	2	
6	松下 菜摘	/	3	1	0	0	0	
7	萬正 雛子	DNF	0	0	0	0	0	
8	上島 凜	/	0	0	0	0	0	
9	山口 奈々花	×	13	0	6	1	2	
10	西見 恋奈	×	2	0	1	0	1	
11	上濱 月奈	×	4	0	2	0	0	
12	水口 真白	/	5	1	1	0	2	
13	橋本 叶生	DNF	0	0	0	0	0	
14	鷹 偲裕	DNF	0	0	0	0	0	
15	深見 花	DNF	0	0	0	0	0	
16	上濱 日奈	DNF	0	0	0	0	0	
17	西見 梨寿	DNF	0	0	0	0	0	
18	加門 希彩	DNF	0	0	0	0	0	
コーチ	福光 明							
合計			46	2	17	6	10	

×…スターター /…出場 DNF…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

関東代表予選2位の東京成徳と北信越代表予選1位の輪島の決勝トーナメント1回戦。両チーム共にオールコートマンツーマンDefでスタート。先制したのは輪島。相手の激しいDefにバタバタとする場面もあったが、#4、#11を中心とした速攻から、#9のジャンプシュートなどで得点。対して、東京成徳は、#4のドライブ、#6の3Pで得点を挙げる。東京成徳11-8輪島で1Q終了。2Q開始早々、輪島のDefリバウンドからの早い攻めで連続得点。#12の3Pや#5から#9への合わせで一時5点リードする。しかし、2Q後半、東京成徳がフリースローとその後のセカンドシュートで流れをつかむと、残り1分30秒で#13バスケットカウント、そのフリースローのリバウンドシュートで逆点。輪島#11のドライブ等で同点となるも残り40秒で東京成徳#4の3Pが決まり、東京成徳26-23輪島で前半終了。

3Q立ち上がり、輪島の速攻が決まり逆転、5点リードする。東京成徳もドライブや速攻で攻めるも、シュートをブロックされ、なかなか得点が決まらない。しかし、#9のアシストで#13が得点し、残り46秒で1点差まで追い上げる。ここで輪島がタイムアウトを取り、#6をコートに送る。その#6が3Pを決め、東京成徳34-38輪島で3Q終了。4Q、輪島#4のドライブで点差を広げるも、東京成徳は#4の3Pや粘り強いDefでくらくらいつく。残り3分半ほど、東京成徳#7のジャンプシュート、ドライブで3点差になると輪島のミスが続く、東京成徳#7のドライブが決まり1点差。残り2分28秒、たまたま輪島がタイムアウトを取るが、Offリズムを取り戻せない。残り1分20秒で東京成徳#7がパスカットからシュートを決め、東京成徳47-46輪島となり東京成徳がそのまま逃げ切る形で勝利。

記者 大川 ちはる (所属) 福井県バスケットボール協会